都市再生整備計画

東海道地区

三重県　朝日町

令和元年　9月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	三重県	市町村名	朝日町（あさひちょう）	地区名	東海道地区（とうかいどうちく）	面積	62 ha

計画期間	平成 30 年度 ～ 令和 4 年度	交付期間	平成 30 年度 ～ 令和 4 年度

目標

大目標：『歩き・集えるくらしやすいまちづくり』
目標1：東海道の歴史的風情を活かし、朝日町らしさを創出するためのまちづくりを推進する。
目標2：町民や来訪者が交流し、コミュニティを育むまちづくりを推進する。
目標3：生活者や歩行者にやさしいみちづくりを推進する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

【地区の概況】
・本町は、三重県内で面積が一番小さな町であるが、名古屋圏及び四日市・桑名市といった中核都市に近接し、旧東海道や国道1号、北勢バイパス、JR関西本線、近鉄名古屋線が通り、さらには伊勢湾岸自動車道みえ朝日ICを有し、交通利便性のよい、自然を身近に感じられる快適な生活環境を有し、また誇るべき歴史・文化遺産も数多く所在するまちである。
・丘陵地では住宅開発により新たな町づくりを進めており平成22年度に実施された国勢調査では人口増加率全国1位の市町村となり、平成25年には人口1万人を超える町となっている。
・町内を縦断する東海道の歴史とともに、縄生廃寺跡（県指定史跡）や古萬古・有節萬古の窯跡などの歴史・文化遺産をはじめ、魅力ある地場産品といった地域資源を数多く有している。
・地区内には狭あい道路が多く、歩行者の安全上の問題を残すほか、など、安全で快適な居住環境の確保上の問題点を有している。

【まちづくりの経緯】
・歴史文化の継承とともに地域活性化につなげる交流資源として活用していくため平成27年度に「まち、ひと、しごと創生総合戦略」の重要施策の一つとして「旧東海道まちなみ整備計画の策定」を位置付けている。
・平成28年度に東海道まちなみ整備計画が策定され、都市再生整備計画事業と並行してまちなみ整備計画を今後住民との協働により継続して実践していくための取り組みを考えている。

課題

・東海道のまちなみの歴史的風致の再生を通じて、風情のあるまちなみを保全・再生し、地区の魅力として活かしていくことが課題。
・歴史的な風情が感じられるまちなみを形成していくにあたり、旧家屋を維持していくことが課題。
・神社仏閣、史跡、水路、桜並木、眺望景観等が良好な場所等の地域資源を歩行者が巡ることができるネットワーク形成が課題。
・町内居住者の増加に伴い、町民と来訪者が交流し、地域コミュニティを形成できる施設確保や場づくりが課題。
・通過交通が多く、制限速度である時速30km/hを超えて走行する車が見られ、これら通過交通量の削減と走行速度の抑制を図り歩行者の安全確保を図ることが課題。

将来ビジョン（中長期）

・都市計画マスタープランでは、東海道沿道は「東海道まちなみゾーン」として歴史的要素を活かしつつ住宅地としての整備、改善を促進し、細街路など生活道路の整備や災害時における避難路の明示、通過交通の規制や歴史文化を活かした沿道空間の創出などにより居住環境の向上を図るとしている。
・ひと・まち・しごと創生総合戦略では、町内を縦断する東海道の歴史とともに、縄生廃寺跡（県指定史跡）や古萬古・有節萬古の窯跡などの歴史・文化遺産をはじめ、魅力ある地場産品といった地域資源は、地域のイメージアップにつながるとともに、人々の交流をもたらし、地域の活性化を促す側面を持っている。今後は、町の魅力の向上と交流人口の増加といった視点に立ち、いわゆる“交流資源”としても活用していくことが必要であり、また、地域の歴史や文化等を身近に感じることは、地域への愛着度の向上につながるとしている。
・平成29年度に立地適正化計画を策定され、東海道地区は都市機能誘導区域（歴史、文化、観光等が集積し、都市の生活利便性を確保することで、賑わいを高める区域）として設定しており、まちづくりの方針として「高齢者や子育て世代も外に出かけ、歩いて暮らせるまちづくり」としている。

目標を定量化する指標

指　標	単　位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
観光ガイドボランティア等の利用者数	人	観光ガイドボランティア等が来訪者を案内した年間人数	目標1の実現のため、東海道を活かしたまちづくりを行い、まちの魅力を向上により、来訪者のガイドボランティア等利用者数の増加を図る。	0	H28	400	R4
朝日町資料館入館者数	人	朝日町資料館の年間入館者数	目標2の実現のため、地域コミュニティ施設を整備し、イベント等の実施により、資料館の入館者数の増加を図る。	343	H27	800	R4
東海道の車両の通過交通量	台	東海道を通過した車両数	目標3の実現のため、高質空間形成施設の充実し、歩行者の安全性、快適性を向上により、通過交通車両数の減少を図る。	1338	H28	1200	R4

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1 （東海道の歴史的風情を活かし、朝日町らしさを創出するためのまちづくりを推進する。） 東海道の歴史を感じることができる広場を整備するとともに、街道沿道をはじめとして、歴史的趣きを残す建造物や社寺境内林などを活用しつつ、歴史的な風致を保全・再生することにより、特色と魅力のあるまちづくりを行う。	■基幹事業　地域生活基盤施設：（仮称）伊勢朝日駅前ポケットパーク整備 地域生活基盤施設：語らいの広場改修 地域生活基盤施設：情報板 高質空間形成施設：町道3-3号線整備（カラー舗装・スリット側溝等） 高質空間形成施設：町道3-113号線整備（カラー舗装等） 高質空間形成施設：町道2-46号線整備（カラー舗装等） 高質空間形成施設：町道3-6号線整備（カラー舗装等） 高質空間形成施設：水路修景 高質空間形成施設：ゴミ置場修景 高質空間形成施設：サクラ並木等緑化修景 □提案事業　地域創造支援事業：家屋等修景補助 地域創造支援事業：まち歩きパンフレット作成 地域創造支援事業：旧東海道に関する展示物制作 地域創造支援事業：まち歩きナビ作成 まちづくり活動推進事業：道路・ポケットパークの検討ワークショップ等の開催支援 事業活用調査：事業効果分析調査
整備方針2 （町民や来訪者が交流し、コミュニティを育むまちづくりを推進する。） 丘陵地の開発による新規住民と、地区内の住民が協働でみち、まちづくりを進めるなかで、町民と来訪者が交流を促進し、地域コミュニティのきずなを深めるための機会づくりと基盤となる拠点施設整備を行う。	■基幹事業　地域生活基盤施設：（仮称）JR朝日駅前ポケットパーク整備 地域生活基盤施設：柿城跡改修 既存建造物活用事業（高次都市施設）：地域交流センター □提案事業　まちづくり活動推進事業：地域交流センターのデザインワークショップ等の開催支援 まちづくり活動推進事業：みちづくり・まちづくり活動支援 まちづくり活動推進事業：まちづくり関連イベント 事業活用調査：事業効果分析調査
整備方針3 （生活者や歩行者にやさしいみちづくりを推進する。） 東海道南側に位置する小学校への通学や、沿道の学童保育所などの利用、さらに旧東海道沿道の社寺仏閣、史跡、良好な眺望スポットなどの地域資源を巡る歩行者の安全性、快適性を確保する。	■基幹事業　高質空間形成施設：町道3-3号線整備（カラー舗装・スリット側溝等） 高質空間形成施設：照明灯設置 地域生活基盤施設：（仮称）柿地区ポケットパーク整備 □提案事業　事業活用調査：事業効果分析調査 ○関連社会資本整備事業　高質空間形成施設：町道3-3号線整備（カラー舗装・スリット側溝等） 高質空間形成施設：サクラ並木等緑化修景

その他

様式3　目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	781.3	交付限度額	349.5	国費率	0.447

（金額の単位は百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比 B／C
道路															
公園															
古都及び緑地保全事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設(広場)		(仮称)伊勢朝日駅前ポケットパーク	朝日町	直	416㎡	H30	R2	H30	R2	22.2	22.2	22.2		22.2	
地域生活基盤施設(広場)		語らいの広場改修	朝日町	直	1137㎡	H30	H31	H30	H31	52.6	52.6	52.6		52.6	
地域生活基盤施設(広場)		柿城跡改修	朝日町	直	13500㎡	H30	R2	H30	R2	13.3	13.3	13.3		13.3	
地域生活基盤施設(広場)		(仮称)JR朝日駅前ポケットパーク	朝日町	直	1100㎡	H30	R2	H30	R2	52.8	52.8	52.8		52.8	
地域生活基盤施設(広場)		柿地区ポケットパーク	朝日町	直	90㎡	H30	R4	H30	R4	6.5	6.5	6.5		6.5	
地域生活基盤施設(情報板)		サイン・案内板設置	朝日町	直	8箇所	R3	R4	R3	R4	30.2	30.2	30.2		30.2	
高質空間形成施設		町道3-3号線	朝日町	直	2614m	H30	R3	H30	R3	121.0	121.0	121.0		121.0	
高質空間形成施設		町道2-46号線	朝日町	直	120m	H30	H31	H30	H31	3.2	3.2	3.2		3.2	
高質空間形成施設		町道3-113号線	朝日町	直	282m	H30	R2	H30	R2	36.4	36.4	36.4		36.4	
高質空間形成施設		町道3-6号線	朝日町	直	106m	H30	R2	H30	R2	7.2	7.2	7.2		7.2	
高質空間形成施設		水路修景	朝日町	直	900m	H30	R4	H30	R4	112.1	112.1	112.1		112.1	
高質空間形成施設		ゴミ置場修景	朝日町	直	7箇所	R2	R3	R2	R3	15.7	15.7	15.7		15.7	
高質空間形成施設		サクラ並木等緑化修景	朝日町	直	5020㎡	H30	R4	H30	R4	179.9	179.9	179.9		179.9	
高質空間形成施設		照明灯設置	朝日町	直	21基	R3	R4	R3	R4	27.0	27.0	27.0		27.0	
高次都市施設															
中心拠点誘導施設															
連携生活拠点誘導施設															
生活拠点誘導施設															
高齢者交流拠点誘導施設															
既存建造物活用事業(高次都市施設)		地域交流センター	朝日町	直	200㎡	H30	R3	H30	R3	56.1	27.9	27.9		27.9	―
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
市街地再開発事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型														
	沿道等整備型														
	密集住宅市街地整備型														
	耐震改修促進型														
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										736.2	708.0	708.0	0	708.0	…A

提案事業（継続地区の場合のみ記載）

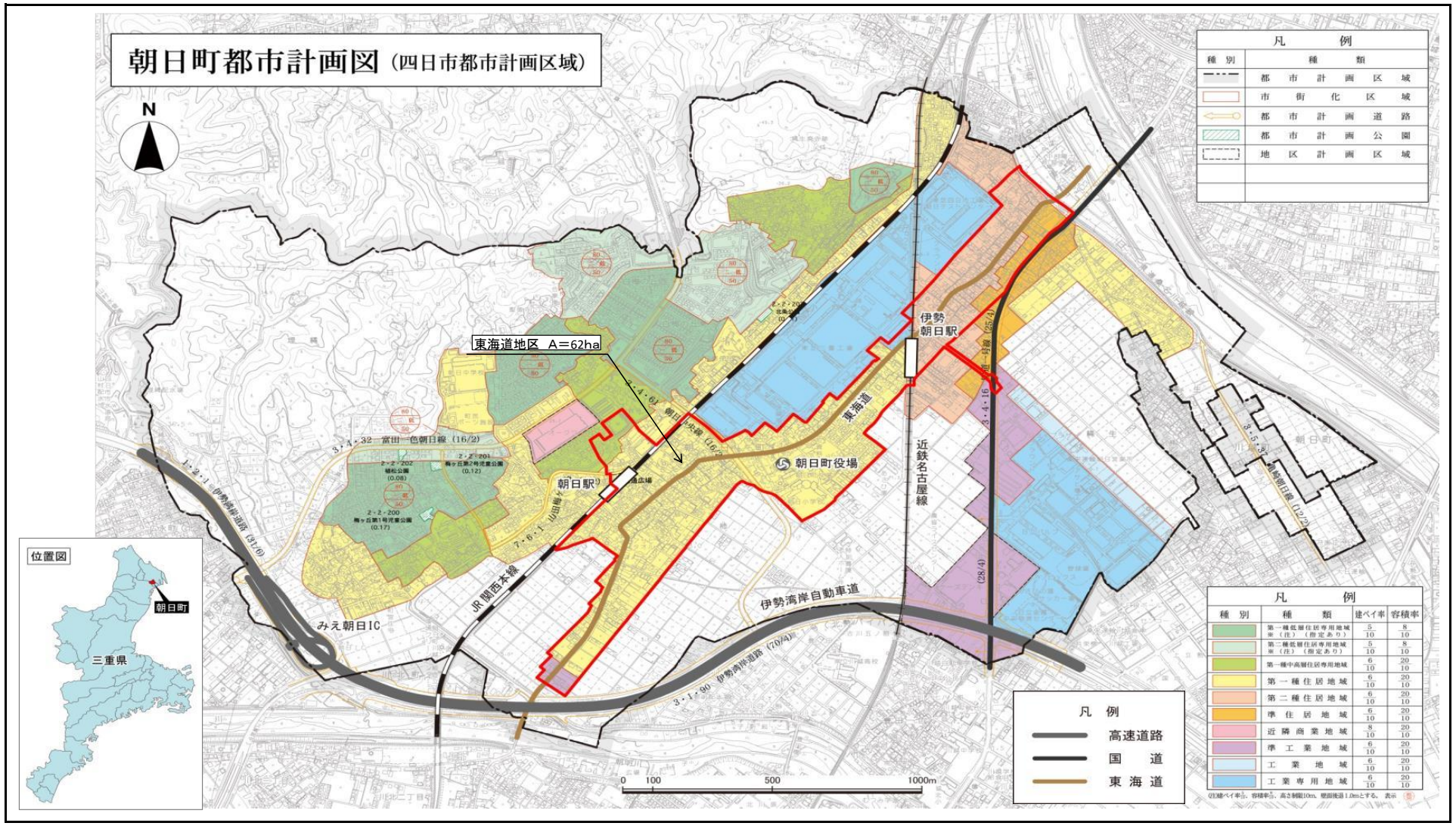
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
地域創造支援事業	家屋等修景補助		朝日町	間	5件	H31	R4	H31	R4	11.9	6.9	6.9	5.0	6.9	
	まち歩きパンフレット作成		朝日町	直	―	H31	R2	H31	R2	2.0	2.0	2.0		2.0	
	東海道に関する展示物制作		朝日町	直	―	H31	R3	H31	R3	25.8	25.8	25.8		25.8	
	まち歩きナビ作成		朝日町	直	―	H31	R3	H31	R3	15.0	15.0	15.0		15.0	
事業活用調査	事業効果分析調査		朝日町	直	―	R2	R4	R2	R4	10.0	10.0	10.0		10.0	
まちづくり活動推進事業	道路・ポケットパーク等のワークショップの開催支援		朝日町	直	―	H30	R2	H30	R2	5.0	5.0	5.0		5.0	
	まちづくり活動支援		朝日町	直	―	H31	R2	H31	R2	2.9	2.9	2.9		2.9	
	まちづくり関連イベント		朝日町	直	―	H31	R2	H31	R2	4.6	4.6	4.6		4.6	
	地域交流センターのワークショップの開催支援		朝日町	直	-	H30	H30	H30	H30	1.1	1.1	1.1		1.1	
合計										78.3	73.3	73.3	5.0	73.3	…B
													合計(A+B)	781.3	

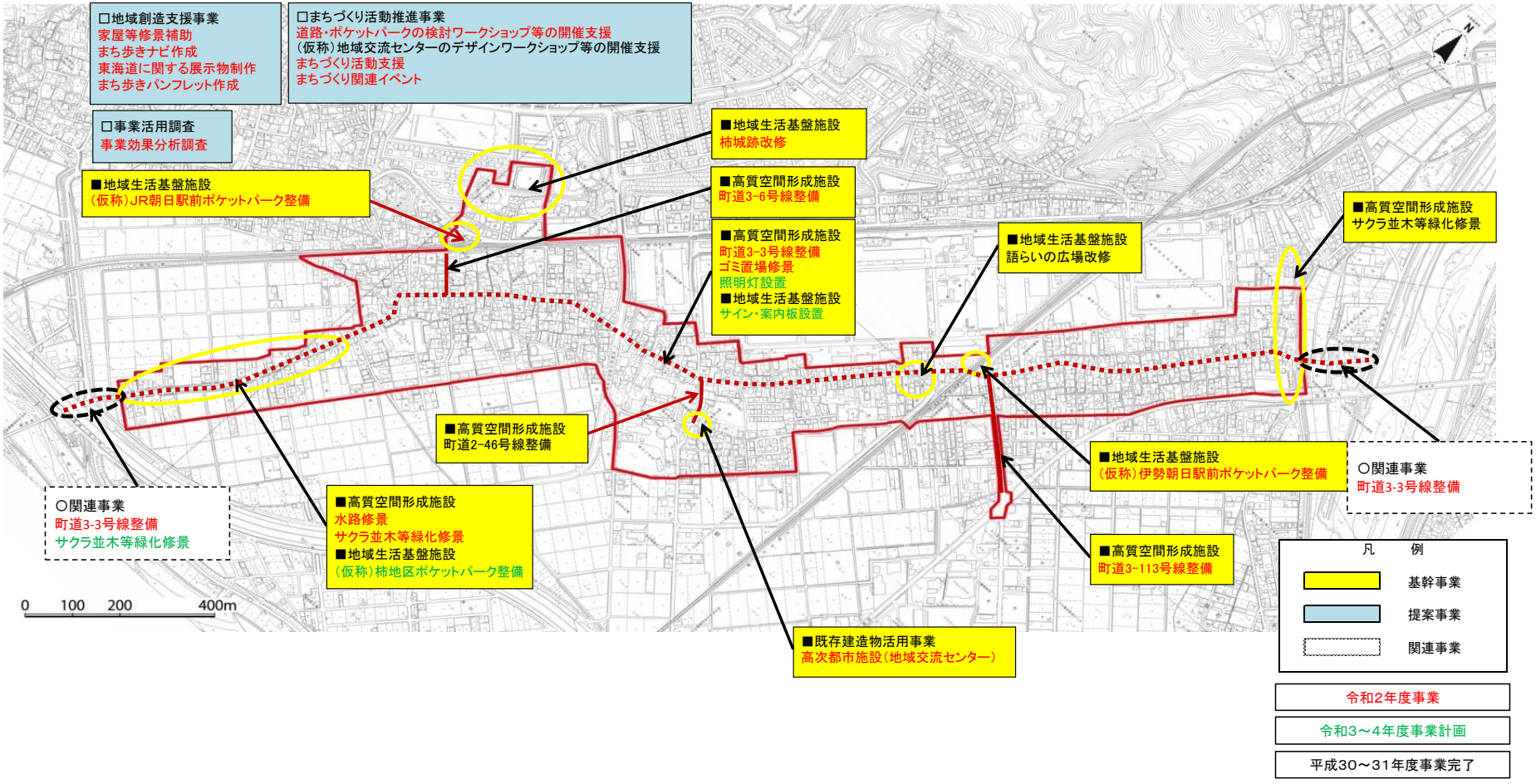
（参考）関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに○） 直轄	補助	地方単独	民間	事業期間 開始年度	事業期間 終了年度	全体事業費	
関連社会資本整備事業	町道3-3号線	朝日町	国交省	334m		○			R2	R3	22.2	
高質空間形成施設	サクラ並木等緑化修景	朝日町	国交省	640㎡		○			H31	R4	22.7	
合計											44.9	…C
										合計(A+B+C)	826.2	

都市再生整備計画の区域

東海道地区（三重県朝日町）	面積	62 ha	区域	縄生字（五福田、里東、八年物、芝溝、赤見田）、小向字（南里下、北里下、長須賀、北二丁目、神田）、柿字（元田、横狭、巳丑起、東廻り、北柿新田、南柿新田、山田）、向陽台三丁目



東海道地区（三重県朝日町） 整備方針概要図

目標	代表的な指標					
大目標：『歩き・集えるくらしやすいまちづくり』 目標1：東海道の歴史的風情を活かし、朝日町らしさを創出するためのまちづくりを推進する。 目標2：町民や来訪者が交流し、コミュニティを育むまちづくりを推進する。 目標3：生活者や歩行者にやさしいみちづくりを推進する。	観光ガイドボランティア等が来訪者を案内した年間人数	（ 人 ）	0	（ H28 年度） →	400	（ R4 年度）
	朝日町資料館の年間入館者数	（ 人 ）	343	（ H28 年度） →	800	（ R4 年度）
	東海道を通過した車両数	（ 台 ）	1338	（ H27 年度） →	1200	（ R4 年度）